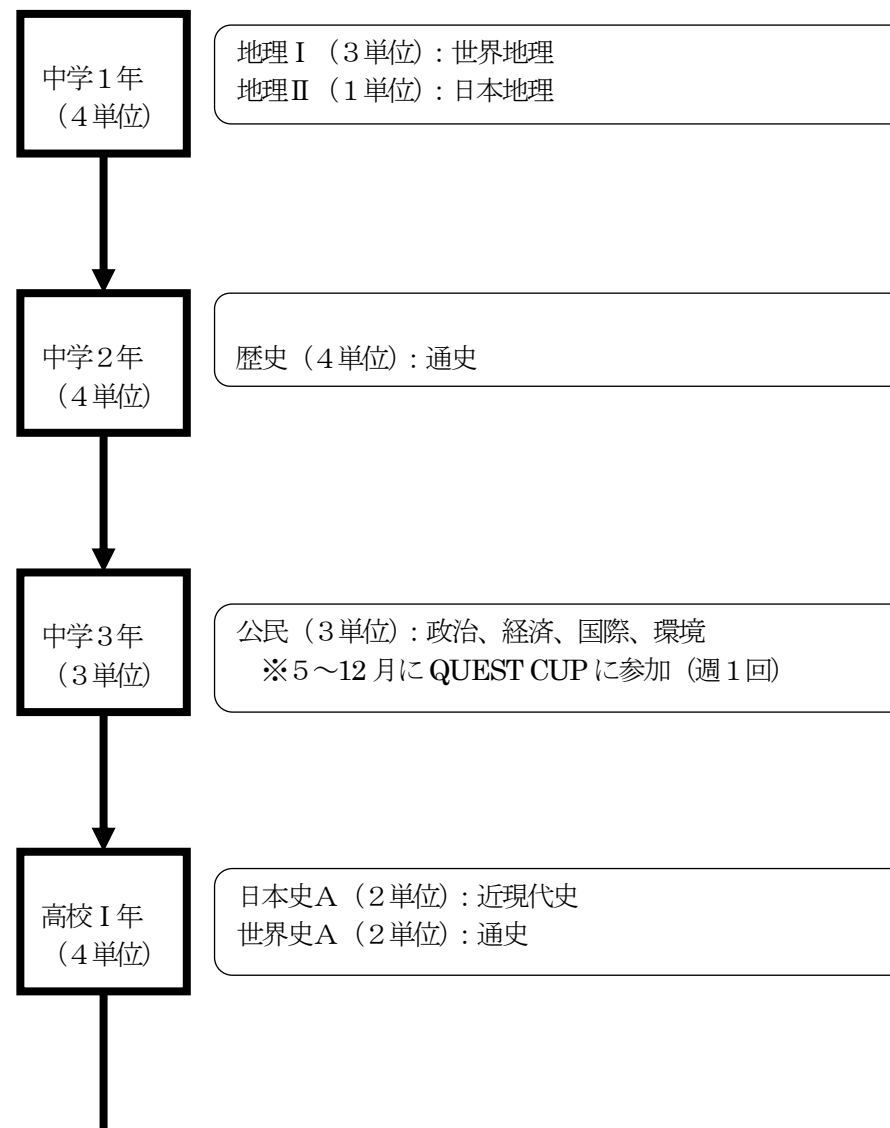


聖学院中高社会科の授業とは～共生社会を作り上げる人材育成をめざして～

聖学院社会科教育が目指すべきものは何か。それは共生社会を作り上げる人材の育成です。そのためには、世界的視野と正しい情報収集能力、世界中の人々と協調していく姿勢を身につけていくことが不可欠です。個々人に目を向ければ、自分は決して一人だけで生きていけるものではなく、他者とのつながりの中で存在しているというまぎれもない事実があります。そのような中で、将来の大学受験を目指す量的授業だけでなく、未来を見据えた質的授業の積み上げを図っていかねば、聖学院中高社会科が目指す人材の育成は成しえないと考えています。聖学院社会科ではこうした現状認識に立って、中高一貫教育を行っています。

たとえば、中学1年の地理では、まず世界地理、日本地理の基礎的知識を習得します。さらに世界の諸地域で起きている出来事を歴史的、経済的背景などの様々な観点を授業で提示し、思考力を育んでいきたいと考えています。こうした経験を積み重ねていくことによって、日本から遠く離れた場所で起こっている様々な出来事に対するグローバルな視点を養っていきます。またその出来事が世界や日本にどのような影響を与えるのか、日本はどのように行動すべきか、ということに対して、個々がそれぞれに考え、文章化していくトレーニングも生徒の状況に応じて行っていきます。『文章化』は思考を論理的に再構築することであり、この過程で自分自身の知識や見識を客観的に組み上げていくことでもあります。単に問題を解いて答えを引き出すことよりも複雑で、これを皆の前で発表することによって、個々の考え方や受け止め方の違いを共有化することにもつながっていくのです。



世界的視野を持つことは短時日にできることではありません。本校の中高一貫システムは、中学1年から高校Ⅲ年までの六年間の中でじっくりと育てていけるというメリットがあります。そのメリットを最大限に生かし、生徒とともに学び、議論し、ある時は賛同、ある時は批判的考察を加えていく経験を通じて、世界的な視野の醸成に役立てていきます。感性に頼るのではなく、基礎的知識の習得の上にその知識をどのように生かしていくのかという経験を授業や体験学習を通じて与えていくことが重要であることは言うまでもありません。

授業内容に関して如何に生徒諸君の興味を喚起するかということも忘れてはなりません。生徒諸君を惹きつける魅力を持った授業を行えるか否かは、我々教師の力量を推し量るバロメーターです。如何に生徒諸君に授業への興味を持ってもらえるか。聖学院社会科の授業は、こうした観点からも工夫を凝らしています。講義形式の授業だけでなく、映像やプレゼン形式、電子黒板などさまざまなアイテムを駆使した授業も行っています。また討論形式で他者の意見と自らの意見との合致や違いに気づき、さらに自らの意見を論理的に構築していく授業やこれらを文章化して自らの思考経路を鮮明にしていくことで論理性をさらに磨かれていく授業も行っています。これらを通して聖学院社会科の目標を達成されていきます。

我々教師は生徒とともに学ぶ姿勢を忘れることなく、聖学院が目指すサーバンントリーダーシップを発揮し、自らもよりよい授業構築のために精進を重ねていきます。こうした師弟ともに謙虚に学ぶ姿勢を醸成していくことも聖学院社会科の授業の特徴です。

